

# KENWOOD

## DPV-5000

AV System

### 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。  
また、この取扱説明書は大切に保管してください。  
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド



#### My-Kenwoodのご案内

お買い上げいただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。  
下記ウェブサイトで会員規約をご確認になり、My-Kenwood をご利用ください。  
<https://jp.my-kenwood.com>

# 目次

安全上のご注意.....	3	付録	
使用上のご注意.....	6	メディアおよびファイルについて.....	35
取扱説明書について.....	8	ソフトウェア使用許諾契約書.....	37
電源を入れる / 切る.....	8	iPod について.....	39
本機対応の別売品について		Bluetooth について.....	39
別売品について.....	8	故障かなと思ったら.....	40
時刻を設定する.....	9	商標.....	43
ディスク、SD カードの出し入れ、パネルの角度調整をする		主な仕様.....	45
パネルの操作.....	9	保証とアフターサービス.....	46
パネルにあるボタンの機能			
各部の名称とはたらき.....	10		
画面の出しかた.....	11		
すべての機能はこの画面から始まりませ			
HOME 画面の構成.....	12		
画面 / リストの操作.....	12		
マイメニュー.....	13		
サブメニュー.....	13		
使いやすいように設定する			
情報・設定.....	14		
設定データ保存.....	16		
接続状態の確認			
接続状態を確認する.....	16		
音楽やビデオを楽しむ			
AV 操作.....	17		
音楽 CD を SD カードに録音する.....	26		
画質を調整する.....	29		
Bluetooth 機器の登録と設定.....	30		
ハンズフリーを使う.....	32		
リアビューカメラを接続したときは設定が必要です			
リアビューカメラを使う.....	34		

# 安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 <b>警告</b>	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意（しなければならない）の内容です。
	禁止（してはいけない）の内容です。
	実行（かならず行っていただく）の内容です。

## 取り付けや配線について

### 警告



#### **本機は DC12V ⊖ アース車以外で使用しない**

火災や故障の原因になります。DC24V 車(大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など)で使用しないでください。

#### **エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない**

エアバックが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバック装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

#### **取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない**

制御不能や発火、交通事故の原因となります。

#### **視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない**

交通事故やケガの原因となります。

#### **フィルムアンテナは保安基準の取付許容範囲外に貼り付けない**

視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。



#### **取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する**

取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をするると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

#### **説明書に従って取り付け・配線をする**

火災や故障の原因となります。作業は手順とおりに正しく行ってください。

#### **作業前に必ずバッテリーの ⊖ 端子を外す**

外さずに作業をするとショートによる感電やけがの原因となります。

#### **作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する**

車体に穴を開けて取り付けの場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

#### **必ず付属の部品や指定の部品を使用する**

機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

**コード類は、運転を妨げないように引き直し固定する**

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

**車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する**  
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

**コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する**

被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

**パーキング検出（サイドブレーキ）コードは正しく配線する**

正しく配線しないと安全機能が働かず、交通事故の原因となります。

**取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる**

車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

**ねじなどの小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く**

あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

 **注意****自動車のコンソールに取り付ける**

本機の使用前または使用直後は、本機の背面や側面などの金属部分が高温になっています。直接触れるとやけどの原因となることがあります。取り外すときなどご注意ください。

**直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けけない**

機器の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

**水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けけない**

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

**機器の通風口や放熱板をふさがない**

機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

**コードの扱いに注意する**

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

**使用方法について** **警告****分解・修理および改造はしない**

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

**音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない**

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

**機器内部に、水や異物を入れない**

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

**故障や異常な状態のままで使用しない**

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

**運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない**

必ず安全な場所に車を停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。



**雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない**  
 落雷による感電の原因となります。



**ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する**  
 規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口に依頼してください。

## ⚠️ 注意



**本機を車載用以外で使用しない**  
 発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。



**可動部やディスク挿入口に手や指を入れない**  
 モニター開閉や角度調整の時にはご注意ください。けがの原因となることがあります。

## 異常時の問い合わせ

## ⚠️ 警告



**異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店がサービス窓口に相談する**  
 そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## 本機のサポート情報を役立てよう！

### 本機の最新情報はこちら

ファームウェアのバージョンアップ情報など本機の最新情報を掲載しています。

<http://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/>



## FAQ（よくあるご質問）

当社のホームページでは、本機についてのお問い合わせの内容を掲載しています。

本書の「故障かなと思ったら」と合わせてこちらでもご覧ください。

<http://www.kenwood.com/jp/cs/car/faq/>



# 使用上のご注意

## 安全走行のために

ご使用になる前に必ず、本書や注意事項などをよく読み、正しく理解して使用してください。安全上の配慮から、走行中はテレビやビデオなどの映像を見ることはできません。安全な場所に駐車してパーキングブレーキを引いてからお楽しみください。なお、走行中であっても音声だけは出力されます。また、同様の理由で一部の機能で操作できないものがあります。

## 本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かなと思ったら」(→ P.40)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。

## 本機のお手入れについて

操作パネルや本体部が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。

汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

傷が付いたり文字が消えることがあります。

## フィルムアンテナのお手入れ

- フロントウィンドウの内側を清掃の際には、フィルムアンテナをやわらかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れのひどいときは、水に薄めた中性洗剤に浸した布を堅くしぼり、軽く拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。
- 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。

## オートアンテナ(電動アンテナ装備車)の操作について

車両側のアンテナコントロール端子と本機のアンテナコントロール (ANT CONT) 端子を接続しているときは、FM、AM、交通情報ソースにするとオートアンテナが伸びます。FM、AM、交通情報ソースにしているときは、天井の低い駐車場に入る場合などオートアンテナを下げたいときは、オートアンテナをしまってください。

## モニター画面について

- 画面部をボールペンなどの先のとがった物で操作しないでください。画面が損傷する場合があります。
- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 画面部に保護用フィルムなどを貼らないでください。タッチ操作時に誤動作する場合があります。

- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点が出る場合があります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、液晶を見る角度によっては表示が見づらいことがあります。故障ではありません。

## 結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、販売店へ連絡してください。

## フロントパネルの安全装置について

パネルの隙間にコードなどの異物を挟んで閉じたときは、安全装置がはたらき、フロントパネルの動作が停止します。この場合は異物を取り除いてから、再度操作してください。

## 本機にメモリーされた個人情報について

本機を譲渡したり、売却したりする場合には、本機に記録された情報を、必ずお客様自身によってデータを消去し、確認してください。

消去は、「システムの初期化」(→ P.15)で行うことができます。

なお、次のデータや設定は「システムを初期化する」では消去できません。個別に消去/解除してください。

- 暗証番号の解除
  - SD カードに録音したデータ
- 当社では未消去のデータの流出による損害等について、一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

## 本機での個人情報を含む検索データの取り扱いについて

当社は、同データに収録された個人情報をその機能の実現のみに使用し、第三者へは開示しません。該当する個人情報の開示、訂正、削除などをご希望のお客様は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター（裏表紙）までご連絡ください。ご本人の確認および所定の手続きを経た後、対応が可能となる次回製品より、該当する情報の削除などを行います。

## 電波について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています（受けた部品を使用しています）。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

- 分解 / 改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 本機は 2.4GHz 帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

### 使用上のご注意

本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は下記の通りです。

2.4 FH 1

2.4：2.4GHz 帯を使用する無線機器です。

FH：FH-SS 変調方式を表します。

1：電波干渉距離は 10m です。

：全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域回避可能です。

- 使用可能距離は見通し距離約 10 m です。鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
  - 2.4GHz の周波数帯域を利用する無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
  - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナー、VICS などのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

## 取扱説明書について

本書の取り扱い情報は以下になります。

取扱説明書（本書）

取付説明書（同梱）

取扱説明書＜詳細版＞（PDF版）

本書では基本的な操作について説明しています。詳細な操作方法については <http://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/> で型名を選んで「取扱説明書＜詳細版＞」をご覧ください。



## 別売品について

本機対応の別売品は以下になります。

- iPod 接続ケーブルは、18 ページをご覧ください。
- リアビューカメラ  
ケンウッド専用マルチビューリアカメラ  
CMOS-C320  
ケンウッド専用スタンダードリアビューカメラ  
CMOS-C230W/CMOS-C230

## 電源を入れる / 切る

### 電源オン

車両のイグニッションキーを「ACC」または「ON」にすると、本機の電源がオンになります。

### 電源オフ

車両のイグニッションキーを「OFF」にすると、本機の電源がオフになります。



- 使用状況や電源電圧の変動などによって、本機の取り付け後に初めて電源をオンにしたときと同じ状態になる場合があります。
- 録音中は電源をオフにしないでください。録音を停止してから電源をオフにしてください。

# 時刻を設定する

本機の日付と時刻を設定します。

- 1 フロントパネルの [HOME] を押す
- 2 [情報・設定] にタッチする



情報・設定画面が表示されます。

- 3 [システム] にタッチする



システム設定画面が表示されます。

- 4 「一般」の [時刻設定] にタッチする



- 5 ▲ または ▼ で日付と時刻を設定する



- 6 [決定] にタッチする



# パネルの操作

フロントパネルの角度調整やディスク、SD カードの出し入れをします。

- 1 電源を入れてフロントパネルの [▲] (オープンキー) を押す
- 2 設定する項目にタッチする



## ①フロントパネルの角度調整

光の反射などで画面が見づらい場合などや、ドライビングポジションから見やすいようにフロントパネルの角度を調整します。

## ②視野角の調整

フロントパネルの角度を調整しても画面が見えにくい場合は、視野角にタッチして調整します。

## ③ディスクの出し入れ

### ディスクを入れる

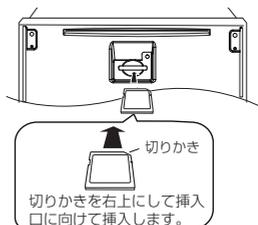
[▲ DISC] にタッチするとフロントパネルが開きます。ディスクを挿入するとパネルは自動で閉じます。

### ディスクを取り出す

[▲ DISC] にタッチするとフロントパネルが開いてディスクが排出されます。ディスクを取り出したら [▲] (オープンキー) を押して、パネルを閉じてください。

## ④SD カードの出し入れ

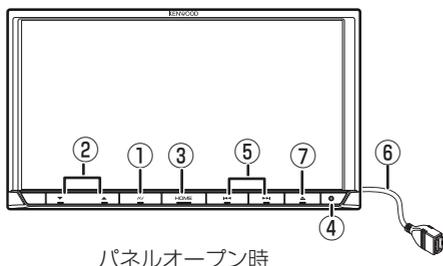
[フルオープン] にタッチするとフロントパネルが開きます。SD カードを突き当たるまで奥に差し込んで入れてください。



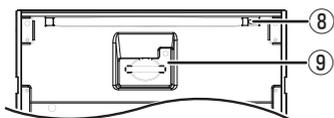
挿入したらフロントパネルの [▲] (オープンキー) を押してパネルを閉じます。

SD カードを出すときは、フロントパネルの [▲] (オープンキー) を押して、[フルオープン] にタッチしてパネルを開いて、SD カードをいったん押し込んでから、つまんで引き出します。

# 各部の名称とはたらき



パネルオープン時



## ① [AV]

- ・ソースのAV画面を表示します。

## ② 音量キー

- ・AVの音量を調整(0～40)します。
- ・ハンズフリー電話中は、着信音量と受話音量を調整(0～40)します。



- ・【▲】を押し続けると、連続して音量値が15まで上がります。

- ・ハンズフリー電話の着信音量と受話音量は、外部機器設定でも調整できます。

## ③ [HOME]

- ホーム画面を表示します。
- 押し続けると、スマートフォン(Bluetooth接続中)の音声認識機能が起動します。

## ④ セキュリティインジケータ

- セキュリティインジケータをONに設定している場合、電源オフ時に点滅します。

## ⑤ スキップ/サーチキー

- FM/AM/地デジ:  
放送局を切り替えます。  
FM/AM受信中に押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。
- 音楽/ビデオ再生:  
前/次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。  
押し続けると、早送り/早戻しします。

- SMART USEN:  
お気に入り登録済みのチャンネルに切り替えます。

## ⑥ USB端子

- USB機器またはiPod/iPhoneを接続します。

## ⑦ 【▲】(オープンキー)

- フロントパネルの角度調整やディスク、SDカードの出し入れを行うためのメニューを表示します。

## ⑧ ディスク挿入口

- ディスクを挿入します。

## ⑨ SDカード挿入口

- SDカードを挿入します。

## 本機のフロントパネルについて

- ・フロントパネルを閉じているときにパネルに触れると、再度フロントパネルが開きます。
- ・フロントパネルオープン中に電源をオフ(ACCオフ)にするとフロントパネルは自動的に閉じますが、但し、イジェクトしたディスクが残っているときは開いたままとなります。
- ・フロントパネルオープン中に電源をオフ(ACCオフ)にするとフロントパネルは自動的に閉じますが、このときにフロントパネルに触れてもフロントパネルは開きません。

# 画面の出しかた

## ホーム画面での操作

ホーム画面は、本機を使うためのスタート地点です。ここからさまざまな機能にアクセスします。ホーム画面はフロントパネルにある【HOME】を押すと、いつでも表示できます。

### ソース切替画面

AV ソースを切り替える画面を表示します。



### ホーム画面



マイメニューを表示します。

### 情報・設定画面

システム、サウンドなどを設定します。



### 電話メニュー画面

電話 (Bluetooth ハンズフリー) メニュー画面を表示します。



### サブメニュー

画面の明るさ調整や、画面をオフするボタンなどが表示されます。



# HOME 画面の構成

HOME 画面は フロントパネルの【HOME】を押すと、いつでも表示できます。



## ① ソース切替

ソース切替画面が表示されます。(→ P.17)  
ソース (音源) の切り替えができます。

## ② マイメメニュー

マイメメニュー画面が表示されます。(→ P.13)  
よく使う設定や機能、AV ソースなどを登録して呼び出すことができます。

## ③ 情報・設定

情報・設定画面が表示されます。(→ P.14)  
サウンドや外部機器などの設定をカスタマイズができます。

## ④ サブメニュー

サブメニューを表示します。(→ P.13)

## ⑤ 電話メニュー

Bluetooth ハンズフリーで使用する電話メニューを表示します。(→ P.32)

# 画面 / リストの操作

## ■ 前の画面に戻る

[戻る] にタッチすると、1 つ前の画面に戻ります。



## ■ リストの操作

リストは上下にスクロールして見たい項目を表示させます。

リストのスクロールには、次の 2 つの方法があります。

- スクロールしたい方向にリストをドラッグまたはフリックする。  
ドラッグまたはフリックした方向にリストがスクロールします。  
フリックしたときは、スクロール中のリストにタッチすると、スクロールを止めることができます。



- リストをページ送りする。  
送りたい方向の [△] [▽] にタッチします。



[△] [▽] にタッチするとリストの最初 / 最後を表示します。

# マイメニュー

マイメニューは、よく使う AV ソースや設定画面などをショートカットに登録しておき、すぐに表示して機能を使うことができます。

## マイメニューを表示する

- 1 フロントパネルの [HOME] を押して [マイメニュー] にタッチする



## ショートカットボタンを割り当てる

本機の機能または AV ソースをそれぞれのショートカットボタンに割り当てます。

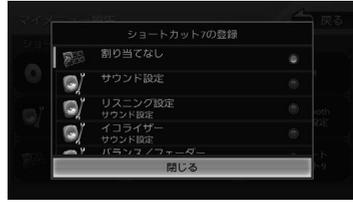
- 1 [編集] にタッチする



- 2 機能または AV ソースを割り当てるボタンにタッチする



- 3 リストから AV ソースまたは機能を選ぶ



# サブメニュー

画面の明るさ、画面表示のオフなどの操作ができます。

- 1 フロントパネルの [HOME] を押して [サブメニュー] にタッチする



- 2 設定する項目にタッチする



### 明るさ

画面の明るさを調整します。

### 画面オフ

画面の表示を消します。

消しているときに画面にタッチすると画面を表示します。

### アンテナを伸ばす / アンテナをしまう

オートアンテナが「あり」に設定されていると表示されます。(→ P.14)

FM、AM または交通情報を聴いているときに、オートアンテナを伸ばしたりしまったりできます。

# 情報・設定

## 情報・設定画面

情報・設定画面では、サウンドや外部機器などの設定をカスタマイズができます。

- 1 フロントパネルの【HOME】を押す  
HOME 画面が表示されます。
- 2 [情報・設定]にタッチする



情報・設定画面が表示されます。

- 3 項目にタッチする



### 【接続】

本機に接続されている機器の接続状態を表示します。(→ P.16)

### 【バージョン】

本機に収録されている各種データのバージョン情報を表示します。

### 【サウンド】

バランスやイコライザーなどサウンドに関する設定を行います。(→ P.14)

### 【システム】

システムに関する設定を行います。(→ P.14)

### 【外部機器】

本機に接続する外部機器に関する設定を行います。(→ P.15)

## サウンド設定



- ・サウンドの設定は AV ソースを選択しているときに行ってください。ソースがオフ (STANDBY) のときは、サウンドの設定はできません。

項目	設定
リスニング設定	リスニングポジションを設定します。
イコライザー	音質を設定します。
バランス / フェーダー	左右 / 前後の音量バランスを設定します。
音質・音場効果	ミュージックパスブースト / ミュージッククラウドネス / Drive Equalizer / K2 テクノロジー / リアライザー / サウンドライザーを設定することができます。
スピーカー	スピーカーの構成と車両タイプを設定します。
ソースレベル	+5 ~ 0* ~ -5 各 AV ソースの音量をそろえます。

## システム設定項目

- AV  
音声案内時の AV 音量など、音量に関する設定ができます。

項目	設定
案内音声出力時の AV 音量	そのまま / 下げる * / 消音
リバース時の AV 音量ダウン	ON* / OFF 車両をバックするときに AV ソースの音量を下げるかどうかを設定します。
スターターボリューム	動作しない* / 更新間隔 : 速 / 更新間隔 : 中 / 更新間隔 : 遅

- 表示

項目	設定
映像画面 / 消灯画面の時計表示	ON* / OFF

- 車両  
オートアンテナ、ステアリングリモコンの設定ができます。

項目	設定
オートアンテナ	あり / なし * オートアンテナを装着しているときに設定してください。(→ P.13)

項目	設定
ステアリングリモコン	ステアリングリモコンを使用するときに設定します。お使いの車メーカーを選択してください。お使いの車メーカーに合わせたステアリングリモコンキーの割り当てを設定します。ユーザー独自のキーを割り当てたい場合は「ユーザー学習」を選択して「ステアリングリモコン学習」にタッチして割り当てを行ってください。
ステアリングリモコン学習	ステアリングリモコンの動作を設定します。

- 一般  
SDカードの初期化、暗証番号の登録、変更などができます。

項目	設定
SDカード初期化	SDカードを初期化します。SDカード内のすべてのデータが消去されます。
案内音声の音量	案内音声の音量を設定します。
操作音の出力	ON*/OFF 操作音の出力をするかしないかを設定します。
ショートカットボタン登録	ショートカットボタンに機能を登録します。(→ P.13)
暗証番号登録	本機の起動のための暗証番号を設定します。
暗証番号解除	設定した暗証番号を解除します。
暗証番号変更	設定した暗証番号を変更します。
セキュリティインジケータ	ON/OFF*
リフレッシュ通知	ON*/OFF 運転開始から（本機が電源オン状態のまま）2時間ごとに「そろそろ2時間になります。休憩しませんか？」と音声で通知されます。
時刻設定	本機の日付と時刻を設定します。(→ P.9)

- 特別  
設定の初期化などを行います。

項目	設定
オープンソースライセンス	ライセンスを表示します。
設定データの書き出し	設定データの書き出し、読み込みを行います。(→ P.16)
設定データの読み込み	

項目	設定
システムの初期化	タッチするとメッセージが表示されます。[[はい]]にタッチします。暗証番号の設定とSDカードに録音した曲は消去されません。

## 外部機器設定

- Bluetooth  
Bluetoothの設定については31ページをご覧ください。
- カメラ

項目	設定
リアカメラ接続	なし*/汎用カメラ/専用カメラ（コントロール機能付） リアビューカメラの接続を設定します。(→ P.34)
リアカメラ調整	専用カメラの調整を行います。汎用カメラの場合はガイド線を調整します。

- その他

項目	設定
スマートフォンの置き忘れ警告	ON*/OFF iPhoneをUSB接続しているときに、本機の電源をオフになると「携帯電話を忘れていませんか？」と音声案内を行います。

## 設定データ保存

本機にSDカードを挿入して、本機の設定をSDカードに保存することができます。保存したデータは読み込むこともできます。保存できる項目については <http://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/> で型名を選んで「取扱説明書<詳細版>」をご覧ください。

- 1 フロントパネルの【HOME】を押す  
HOME画面が表示されます。
- 2 【情報・設定】にタッチする



情報・設定画面が表示されます。

- 3 【システム】にタッチする



システム設定画面が表示されます。

- 4 「特別」の【設定データの書き出し】にタッチして、【はい】にタッチする



SDカードに保存されると自動で再起動します。書き出したデータを読み込むときは【設定データの読み込み】にタッチします。読み込みが終了すると自動で再起動します。

## 接続状態を確認する

- 1 フロントパネルの【HOME】を押す  
HOME画面が表示されます。
- 2 【情報・設定】にタッチする



- 3 【接続】にタッチする



接続情報が表示されます。



表示または設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
リバース信号	リバース検出コードの接続状態を表示します。
パーキングブレーキ	パーキング検出コードの接続状態を表示します。
イルミネーション	イルミネーションコードの接続状態を表示します。
専用カメラ	リアカメラが接続されたときに接続状態を表示します。 リア： リアカメラが接続されています。

# AV 操作

## ソースを切り替える

ソース切替画面でソース（音源）を切り替えます。

- 1 フロントパネルの [HOME] を押す  
HOME 画面が表示されます。
- 2 [ソース切替] にタッチする



ソース切替画面が表示されます。

- 3 切り替えたいソースにタッチする



選択したソースの AV 画面に切り替わります。

### iPod

iPod の曲を再生します。(→ P.18)

### USB

USB 機器のオーディオ/ビデオファイルを再生します。(→ P.19)

### SD

SD カードのオーディオ/ビデオファイルを再生します。(→ P.19)

### マルチ AV ブラウザ

マルチ AV ブラウザソースは、USB 機器、SD カードにあるそれぞれの曲またはビデオを横断して表示し、カテゴリから選択して再生することができます。(→ P.25)

### DISC

CD や DVD、オーディオファイルを保存した CD-R などのディスクを再生します。(→ P.21)

### 地デジ

地デジを受信します。(→ P.23)

### FM

FM ラジオ放送を受信します。(→ P.22)

### AM

AM ラジオ放送を受信します。(→ P.22)

### 交通情報

交通情報放送を受信します。(→ P.22)

### Bluetooth AUDIO

本機に接続した Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを再生します。(→ P.24)

### SMART USEN

スマートフォンアプリケーション「SMARTUSEN」をインストールしたスマートフォンを接続すると本機でチャンネル選択などの操作をすることができます。(→ P.24)

### STANDBY

ソースをすべてオフにします。

## 映像画面の操作ボタンを表示させる

- 1 画面をタッチする

操作ボタンが表示されます。



[非表示] にタッチするとボタンが消えます。

## K2 テクノロジーについて

各ソースの AV 画面に「K2 テクノロジー」をオン/オフするボタンがあります。チェックが付いていると、録音時に失われた信号成分を補完し、より自然な音声再生にします。

## スペクトラムアナライザー表示について

画面デザインをスペクトラムアナライザーにしているときは、[表示] にタッチすると全てのボタン（サブ機能ボタン）が表示されます。

例：iPod ソース画面



サブ機能ボタンは一定の時間が過ぎると消えます。画面の [閉じる] でも消すことができます。

## iPod

- iPod ソース中にコントロールできるのは音楽再生のみです。ビデオの再生コントロールはできません。
- iPod ソースで iPod を再生するときの接続方法は、USB 接続または Bluetooth 接続です。USB 接続の場合は別売の KCA-iP103 で接続します。Bluetooth 接続の場合は Bluetooth の登録を行ってください。(→ P.30)



- iPod 接続ケーブルを接続する USB ケーブルは、本機の背面から出ています。見当たらない場合は、グローブボックスなどに配線されていることがありますので、ご確認ください。



ボタン	説明
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
[リスト]	再生リストを表示します。
▶/	再生または一時停止（ポーズ）します。
◀◀ / ▶▶	前 / 次の曲を再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
[デバイス切替] (Bluetooth 接続時のみ)	Bluetooth 接続のときは、Bluetooth デバイス接続画面を表示します。
🔄	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 🔄 OFF：リピート再生モードを解除します。</li> <li>• 🔄 ALL：リスト内のすべての曲をくり返し再生します。</li> <li>• 🔄 1：再生中の曲をくり返し再生します。</li> </ul>
🔀	タッチするたびにシャッフル再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 🔀 OFF：シャッフル再生モードを解除します。</li> <li>• 🔀 曲：リスト内の曲をシャッフル再生します。</li> </ul>

## USB/SD

### <オーディオファイル>



### <ビデオファイル>



ボタン	説明
[切替]	オーディオファイル再生時の画面デザインが切り替わります。
[非表示]	ビデオファイル再生時の操作ボタンを消します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。(→ P.29)
[リスト]	再生リストを表示します。(→ P.20)
▶/	再生または一時停止（ポーズ）します。
◀◀/▶▶	前または次のファイルを再生します（スキップ）。タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
-/+	前 / 次フォルダの先頭ファイルから再生します。
[カテゴリーDB更新]	再生中の USB 機器または SD カードの、カテゴリーデータベースの作成または更新をします。
[デバイス切替] (USBのみ)	複数の USB 機器を接続しているときに、再生する USB 機器を切り替えます。

ボタン	説明
⌂	<p>タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⌂ OFF : ランダム再生モードを解除します。</li> <li>⌂ フォルダ (パソコンで保存したファイル再生のみ) : 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをランダム再生します。</li> <li>⌂ 曲 (カテゴリーデータベース再生のみ) : 再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。</li> </ul>
🔄	<p>タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>🔄 ALL : すべてのファイルをくり返し再生します。</li> <li>🔄 1 : 再生中のファイルをくり返し再生します。</li> <li>🔄 フォルダ (パソコンで保存したファイル再生のみ) : 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。</li> </ul>

## ■ カテゴリーデータベースを作成する

リストから曲またはビデオを再生するときに、アルバム、アーティストなどタグ情報をもとにカテゴリーから曲またはビデオを再生できます。



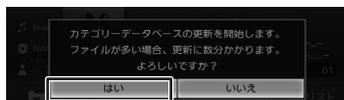
- カテゴリーデータベースの作成、更新は、USB 機器、SD カードに入っているファイルの数によっては時間がかかる場合があります。
- カテゴリーデータベース作成、更新中は他の操作はできません。
- カテゴリーデータベースを更新すると、USB 機器または SD カードに \_ContentsDB フォルダが作成されます。\_ContentsDB フォルダ内にあるデータをパソコンなどで変更または削除しないでください。正しくファイルが再生できなくなります。
- カテゴリーデータベースは最大 15000 曲登録することができます。

### 1 [ カテゴリー DB 更新 ] にタッチする



メッセージが表示されます。

### 2 [ はい ] にタッチする



## ■ 再生リストと再生モードについて

USB ソースおよび SD ソースの再生には以下の再生モードがあります。[リスト] にタッチして再生リストを表示します。モードのリストを切り替えるボタンにタッチするたびにリストが切り替わります。ただし該当するデータがない場合は切り替わりません。



モードを切り替えるボタン

### ● 再生モード

再生リスト	再生モード
フォルダリスト	パソコンで保存したファイルをそのままの状態再生します。 [トップ]、[一つ上] にタッチするとフォルダが表示されます。
カテゴリーリスト	本機でカテゴリーデータベースを作成した USB 機器または SD カードをカテゴリーから選んで再生します。 [トップ]、[一つ上] にタッチするとアーティスト、アルバムなどのカテゴリーが表示されます。
録音データ (SD のみ)	本機で SD カードに録音したデータを再生します。 [トップ]、[一つ上] にタッチするとアーティスト、アルバムなどのカテゴリーが表示されます。



- カテゴリーデータベースモードは、データベースを作成する必要があります。
- SD に録音された録音データの カテゴリーデータベースは自動で作成、更新されます。

# DISC

## <DVD-Video/DVD-VR>



ボタン	説明
[非表示]	操作ボタンを消します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。(→ P.29)
[トップメニュー]	ディスクのトップメニューを表示します。(DVD-Videoのみ)
[メニュー]	ディスクのメニューを表示します。(DVD-Videoのみ)
[プログラムリスト]	プログラムリストを表示します。(DVD-VRのみ)
[プレイリスト]	プレイリストを表示します。(DVD-VRのみ)
▶/	再生または一時停止 (ポーズ) します。
⏸	再生を停止します。
⏮ / ⏭	前または次のチャプターを再生します (スキップ)。タッチし続けると、早戻し (バックサーチ) または早送り (フォワードサーチ) されます。
◀ ▶	カーソルを表示します。(DVD-Videoのみ)
[DVD 設定]	DVD の設定画面を表示します。このボタンにタッチすると、再生中のビデオは停止します。
[音声切替]	音声を切り替えます。
[字幕切替]	字幕を切り替えます。
[アングル]	アングルを切り替えます。(DVD-Videoのみ)

ボタン	説明
↺	<p>タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ALL : すべてのチャプターをくり返し再生します。</li> <li>チャプター : 再生中のチャプターをくり返し再生します。</li> <li>タイトル : 再生中のタイトルをくり返し再生します。</li> <li>プログラム (DVD-VRのみ) : 再生中のプログラムをくり返し再生します。</li> <li>プレイリスト (DVD-VRのみ) : 再生中のプレイリストをくり返し再生します。</li> </ul>

## <音楽 CD>



## <オーディオファイルディスク>



ボタン	説明
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
▶/	再生または一時停止 (ポーズ) します。
⏮ / ⏭	前または次の曲を再生します (スキップ)。タッチし続けると、早戻し (バックサーチ) または早送り (フォワードサーチ) されます。
⏪ / ⏩	前 / 次のフォルダの先頭ファイルから再生します。(オーディオファイルディスクのみ)

ボタン	説明
<b>[リスト]</b>	再生中の曲またはファイルの再生リストを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[トップ]</b> (オーディオファイルディスクのみ) : 一番上の層のフォルダに移動します。</li> <li>• <b>[一つ上]</b> (オーディオファイルディスクのみ) : 一つ上の層のフォルダに移動します。</li> </ul>
<b>[録音]</b> (音楽 CD のみ)	現在の音楽 CD を SD カードに録音します。 <b>[録音停止]</b> にタッチすると、録音を停止します。
<b>[録音設定]</b> (音楽 CD のみ)	SD カードに録音するときの音質設定をします。
タイトル検索	「KENWOOD Music Info.」で使用します。
	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>•  OFF : ランダム再生モードを解除します。</li> <li>•  ALL (音楽 CD のみ) : アルバム内の曲をランダム再生します。</li> <li>•  フォルダ (オーディオファイルディスクのみ) : 再生中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲をランダム再生します。</li> </ul>
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>•  ALL : すべての曲をくり返し再生します。</li> <li>•  1 : 再生中の曲をくり返し再生します。</li> <li>•  フォルダ (オーディオファイルディスクのみ) : 再生中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲をくり返し再生します。</li> </ul>



- 連携スマホアプリケーション「KENWOOD Music Info.」を使って楽曲情報を取得すると音楽 CD の AV 画面で楽曲情報が表示されます。

## AM/FM



ボタン	説明
<b>[切替]</b>	画面のデザインが切り替わります。
	放送局を選択します。 タッチするたびに、1 ステップずつ周波数を変えて選局します (マニュアル選局)。 タッチし続けると、タッチしている間、周波数が連続して変わります。
	プリセット局を番号順に受信します。 「サーチ中…」が表示されるまでタッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に受信します (オート選局)。
<b>[1] ~ [8]</b> (プリセットボタン)	プリセットされている放送局を受信します。
<b>[プリセット切替]</b>	プリセットモード (お気に入り 1 / お気に入り 2) を切り替えます。

## 交通情報



ボタン	説明
<b>[切替]</b>	画面のデザインが切り替わります。
<b>[1620kHz] / [1629kHz]</b>	受信周波数を 1620kHz または 1629kHz に手で切り替えます。



- 交通情報の音量は、他のソースから独立して調整できます。

## 地デジ



ボタン	説明
[非表示]	操作ボタンを消します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。(→ P.29)
[1] ~ [12] (プリセットチャンネルボタン)	プリセットされている放送局に切り替えます。視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、 <input type="checkbox"/> が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびに切り替えます。
[プリセット一覧]	プリセット一覧を表示します。タッチするとプリセットされている放送局に切り替えます。視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、 <input type="checkbox"/> が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびに切り替わります。
◀◀ / ▶▶	前または次のプリセット局を選局します。
[番組表]	番組表を表示します。
[プリセット切替]	プリセットモード（ホーム / お出かけ）が切り替わります。はじめてご使用になる場合は初期スキャンを行ってください。
[受信モード切替]	受信モードを切り替えます。 固定 1Seg： ワンセグ固定モードに切り替えます。 固定 12Seg： 12セグ固定モードに切り替えます。 自動： 自動受信モード（1Seg または 12Seg）に切り替えます。
[音声切替]	視聴番組に複数の音声 / 二重音声があるときに、音声を切り替えます。なお、番組によって、切り替わる音声の種類は異なります。
[字幕切替]	番組に字幕があるときに、字幕を切り替えます。なお、ボタンが表示されていても、字幕が放送されていない場合があります。
[映像切替]	視聴番組に複数の映像があるときに、映像を切り替えます。
[地デジ設定]	地デジ設定画面を表示します。

## ■ ホームとお出かけに放送局をプリセットする

【プリセット切替】にタッチして「ホーム」または「お出かけ」に切り替えます。  
【プリセット一覧】にタッチします。

▼  
【初期スキャン】にタッチします。



現在地の都道府県にタッチして「[はい]」にタッチします。受信できる放送局を検索し、プリセットに登録します。



- 【再スキャン】は初期スキャンを行ったあとで、新たに受信できる放送局を空いているプリセットボタンに登録します。
- 再スキャンはすでにプリセットされている内容はそのまま残ります。
- プリセットした後に初期スキャンをするとプリセットされていた内容はすべて消去され新たにプリセットします。

## ■ 地デジの設定をする

項目	説明
1Seg/12Seg 自動切替設定	推奨*/12Segを優先 / 切替頻度を低減受信モードを [自動] に設定している場合に、優先させる切替条件を設定します。
中継局 / 系列局サーチ	自動切替しない / 自動切替 (中継局) / 自動切替 (中継局 + 系列局) * 中継局サーチ時の切り替え方法を設定します。
文字スーパー	表示しない / 第一言語 * / 第二言語 表示する文字スーパーを設定します。
デバイス ID	受信識別情報が表示されます。この情報は、受信不具合のお問い合わせ時に必要になることがあります。
番組表文字サイズ	小 / 中 * / 大 番組表の文字サイズを設定します。

\* : お買い上げ時の設定です。

## Bluetooth AUDIO

Bluetooth AUDIO ソースを再生する前に、本機に Bluetooth 機器を登録 (ペアリング) してください。登録方法は、30 ページをご覧ください。



ボタン	説明
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
[デバイス切替]	Bluetooth デバイス接続画面を表示します。
	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。
	再生します。
	一時停止 (ポーズ) します。
	前または次のファイルを再生します (スキップ)。 タッチし続けると、早戻し (バックサーチ) または早送り (フォワードサーチ) します。
[リスト]	再生中のファイルの再生リストを表示します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• [トップ]: 一番上の層のフォルダに移動します。</li><li>• [一つ上]: 一つ上の層のフォルダに移動します。</li></ul>



- Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの機種によっては、操作ボタンや楽曲情報を表示できない場合があります。また、再生方法 (スキップ操作やランダム再生モード切替など) を操作できない場合があります。

## SMART USEN

「SMART USEN」は、株式会社 U-NEXT が提供するラジオ型の定額制音楽配信サービス (アプリケーション) です。

「SMART USEN」を利用するには iOS または Android 用スマートフォンアプリケーションが必要です。

「SMART USEN」の詳細はホームページをご覧ください。<http://smart.usen.com/>

### ■ 準備する

#### 1 App Store または Google Play から「SMART USEN」をスマートフォンにインストールする

### ■ 本機とスマートフォンを接続する

#### 1 本機にスマートフォンを接続する

本機に接続するスマートフォンがインターネットに接続されていることを確認してください。

##### ● iPhone を接続する場合

本機の USB ケーブルに接続します。接続ケーブルは別売の KCA-iP103 を使用します。また、Bluetooth で接続することもできます。Bluetooth 接続には登録が必要です。(→ P.30)

##### ● Android 搭載スマートフォンを接続する場合

Android 端末と本機を Bluetooth 接続します。(→ P.30)

## 2 「SMART USEN」を起動する



- 「SMART USEN」を起動して本機に接続しているときは、スマートフォンでの操作はできません。
- 「SMART USEN」の全てのチャンネルを聴くには有料サービス契約が必要です。
- 「SMART USEN」ご利用時の通信料はお客様のご負担となります。
- 通信が不安定な場合は正常に動作しない場合があります。
- 「SMART USEN」を USB ケーブルで接続した iPhone で使用していると、Bluetooth 接続したスマートフォンでは「SMART USEN」を使用できません。



ボタン	説明
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
[デバイス切替] (Bluetooth接続時のみ)	Bluetooth 接続のときは、Bluetooth デバイス接続画面を表示します。
 / 	 にタッチすると消音します。  にタッチすると元の音量に戻ります。
[CHANNEL リスト]	聴きたいジャンルやカテゴリからチャンネルを選択します。
[FAVORITE リスト]	お気に入り登録したチャンネルと今まで聴いたことのあるチャンネルをリスト(お気に入りリスト/履歴リスト)で切り替えて表示します。チャンネルにタッチするとチャンネルが切り替わります。
[お気に入り登録]	再生中のチャンネルをお気に入り登録します。
[お気に入り一覧]	お気に入りリストに登録されたチャンネルから最大 99 チャンネルを表示します。タッチするとチャンネルが切り替わります。
[リスト]	再生中の曲、一つ前の曲、再生予定の5曲をリストで表示します。このリストからチャンネル選択はできません。

## マルチ AV ブラウザ

マルチ AV ブラウザソースは、USB 機器、SD カードにあるそれぞれの曲またはビデオを横断して表示し、カテゴリから選択して再生することができます。USB 機器と SD カードの曲またはビデオを再生するにはカテゴリデータベースを作成する必要があります。カテゴリデータベースの作成については 20 ページをご覧ください。



- カテゴリリストを一度も作成していない USB 機器を接続または SD カードを挿入すると、「カテゴリデータベースがありません。各ソース毎に作成してください。」と表示されます。
- アルバムアートの画像は、情報があるときに表示されます。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。



ボタン	説明
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
	再生または一時停止(ポーズ)します。
	前または次の曲を再生します(スキップ)。 タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ) されます。
[トップ]	再生中のリストのトップを表示します。
[リスト]	再生中のリストを表示します。
	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>•  OFF : ランダム再生モードを解除します。</li> <li>•  曲 : 再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。</li> </ul>
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>•  ALL : すべての曲をくり返し再生します。</li> <li>•  1 : 再生中の曲をくり返し再生します。</li> </ul>

# 音楽CDをSDカードに録音する

再生中の音楽CDをSDカードに録音します。

- 録音中は、地デジとSDソースは選択することができません。
- 録音中に電源をオフにしないでください。ファイルが消えてしまったり、SDカードが破損するおそれがあります。電源をオフにしたい場合は、録音を中止してから行ってください。
- 録音中に録音を中断しても、それまでに録音を完了しているデータは保存されます。
- 録音ファイルは、次のように名前が付けられます。
  - タイトル名: "Track" + Track 番号 + 年 (西暦) + 月日 + 時刻 (24 時間制)
  - アルバム名: "Album" + 年 (西暦) + 月日 + 時刻 (24 時間制)
  - アーティスト名: "Artist" + 年 (西暦) + 月日 + 時刻 (24 時間制)

なお、年、月日、時刻は、その音楽CDが初めて録音されたときの開始時点のものです。

- 楽曲情報は本機で編集することができます。また連携スマホアプリケーション「KENWOOD Music Info.」を使って楽曲情報を取得することもできます。

## ■ 録音可能曲数について

録音可能曲数は、録音品質によって異なります。

- SDカード (8GB の場合):
  - 標準音質 … 約 2000 曲
  - 高音質 … 約 1000 曲

## ■ 録音可能アルバム数について

最大 999 枚録音できます。

## 1 フロントパネルの【HOME】を押す

HOME 画面が表示されます。

## 2 【ソース切替】にタッチする

## 3 【DISC】にタッチする



CDの再生が始まり、DISC画面が表示されます。

## 4 【録音】にタッチする



CD録音画面が表示されます。

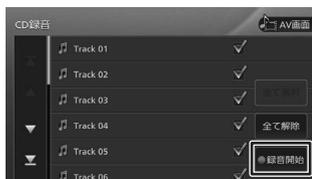
## 5 録音する曲にタッチする



【全て選択】 / 【全て解除】:

録音する曲の選択を、全て選択・解除できます。

## 6 【録音開始】にタッチする



確認メッセージが表示されます。

## 7 【はい】にタッチする

録音が始まります。



【録音停止】:

録音を停止して、ディスクの1曲目から再生します。



すべての録音が終了すると、「録音モード終了」が表示されます。「録音モード終了」にタッチして【はい】にタッチすると、ディスクの1曲目から再生されます。

録音データを再生するには、ソースをSDにします。(→ P.17)

## 録音データのタイトルを編集する

SD カードに録音したデータのタイトル（曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル）を編集します。



- 入力可能最大文字数は、曲名 / アルバム名 / アーティスト名それぞれ 128 文字です。
- 文字の入力方法については 28 ページをご覧ください。
- 手順 8 の [別候補タイトル] は携帯スマホアプリケーション「KENWOOD Music Info.」で使用します。

### 1 フロントパネルの [HOME] を押す

HOME 画面が表示されます。

### 2 [ソース切替] にタッチする

ソース切替画面が表示されます。

### 3 [SD] にタッチする



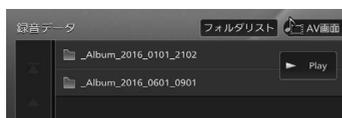
### 4 [リスト] にタッチする



### 5 [トップ] にタッチする



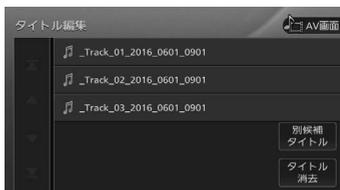
### 6 アルバムにタッチして編集したい曲が含まれるアルバムを再生する



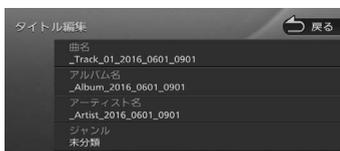
### 7 [タイトル編集] にタッチする



### 8 編集したい曲にタッチする



### 9 編集したい項目にタッチする



#### 曲名:

文字入力の画面が表示されます。

#### アルバム名:

文字入力の画面が表示されます。  
変更したアルバム名は同一アルバム内の全ての曲に反映されます。

#### アーティスト名:

文字入力の画面が表示されます。  
編集すると確認メッセージが表示されます。  
[はい]:  
編集したアーティスト名をアルバム内全ての曲に反映します。  
[いいえ]:  
編集している曲のみに反映されます。

#### ジャンル:

リストから選択します。  
選択すると確認メッセージが表示されます。  
[はい]:  
選択したジャンルをアルバム内全ての曲に反映します。  
[いいえ]:  
編集している曲のみに反映されます。

#### アルバムアートワーク:

録音データにお好みの画像をアートワークとして表示させることがあります。

## 文字の入力方法

### ■ 入力方法を切り替える

文字の入力方法をキーボードのような入力パレットと携帯電話のようなトグル入力に切り替えます。

#### 1 [入力切替] にタッチする



### ■ 文字の種類を切り替える

#### 1 切り替える文字の種類にタッチする



タッチするたびにかな（ひらがな）/ カナ（カタカナ）/ 英数（英字 / 数字）/ 記号に切り替わります。

#### 【小文字】：

小文字に切り替わります。

#### 【半角】：

半角英数文字または記号に切り替わります。

## 入力パレットで文字を入力する

キーボードを使って文字を入力します。ひらがな、カタカナ入力の場合は、漢字に変換することもできます。

#### 1 文字を選んでタッチする



#### 2 変換する場合は、[変換] にタッチする



#### 【無変換】：

文字を変換せず、入力した状態で確定します。

#### 3 変換候補リストから単語を選んでタッチする



文字の変換結果が確定されます。

#### 4 [決定] にタッチする



## トグル入力で文字を入力する

#### 1 文字を選んでタッチする



#### 例：「い」を入力する場合

[あ] を 2 回タッチします。

#### 例：「あい」を入力する場合

[あ] をタッチし、[送り] にタッチしたあと、[あ] を 2 回タッチします。

#### 2 変換する場合は、[変換] にタッチする

#### 【無変換】：

文字を変換せず、入力した状態で確定します。

#### 3 変換候補リストから単語を選んでタッチする

文字の変換結果が確定されます。

#### 4 [決定] にタッチする



- ◀ または ▶ にタッチして消去したい文字の後ろにカーソルを移動して [←] にタッチすると文字を消すことができます。
- [←] を押し続けると、入力した文字列が全消去されます。

# 画質を調整する

## 1 調整する映像ソース画面を表示する

## 2 [映像調整]にタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。



## 3 [-]または[+]にタッチして各項目を調整する



**コントラスト**：コントラストを調整します。

- ・ [ + ]：コントラストが強くなります。
- ・ [ - ]：コントラストが弱くなります。

**ブライトネス**：明るさを調整します。

- ・ [ + ]：明るくなります。
- ・ [ - ]：暗くなります。

**色の濃さ**：色の濃淡を調整します。

- ・ [ + ]：色が濃くなります。
- ・ [ - ]：色が淡くなります。

**色合い (カメラ映像のみ)**：

色合いを [ + ] / [ - ] で調整します。

**アスペクト**

**SD/USB**：

レギュラー、フル、オリジナル

**DVD**：

レギュラー、フル、オート



- ・ [非表示] にタッチすると、操作ボタンを消すことができます。

# Bluetooth 機器の登録と設定

本機は、Bluetooth 対応機器（スマートフォン、携帯電話、オーディオプレーヤーなど）を登録して、ハンズフリー通話や Bluetooth オーディオの再生ができます。



Bluetooth 接続中アイコン



- Bluetooth 機器は 10 台まで登録できます。11 台目を登録しようとするすると接続頻度の低い機器を削除して登録します。
- Bluetooth の対応プロファイルについては、39 ページをご覧ください。

## 本機に Bluetooth 機器を登録する

本機で Bluetooth 機器を利用できるように登録（ペアリング）します。本機はセキュアシンプルペアリングに対応しています。

- 1 登録する Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をオンにする
- 2 Bluetooth 機器で“DPV-5000”を選ぶ
- 3 デバイス名とパスキーを確認する



- Bluetooth 機器側で PIN コードの表示または PIN コードの入力画面が表示されたときは表示されている本機の PIN コードを Bluetooth 機器に入力してください。初期設定は“0000”に設定されています。Bluetooth 機器によっては、PIN コードを入力するときに、この画面が表示されていないことがあります。その場合は、本機の PIN

コードを確認してから Bluetooth 機器に入力してください。PIN コードは、「Bluetooth 設定」から確認できます。

- 4 使用する機能にタッチしてチェックを付けて [はい] にタッチする



[ハンズフリー 1] / [ハンズフリー 2] :

ハンズフリーを登録する番号を選びます。

[オーディオ / アプリケーション連携]

オーディオ再生、本機対応のスマホアプリケーションを Bluetooth 接続で使用します。

[電話帳登録] : 電話帳登録をします。



Bluetooth 機器の登録が始まります。登録と接続が完了すると、本機の画面に Bluetooth 接続中アイコンが表示されます。



- 電話帳は後からでも登録できます。
- 電話帳は最大 1000 件分（1 件あたり最大 5 番号まで）の電話番号を本機に登録することができます。
- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。
- ハンズフリーが 1 台目の登録の場合は「ハンズフリー 1」にチェックが入っています。「ハンズフリー 1」に登録機器がある場合は、「ハンズフリー 2」にチェックが入っています。

## 使用する機能を変更する

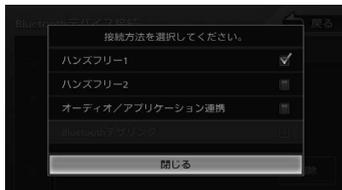
- 1 フロントパネルの [HOME] を押す  
HOME 画面が表示されます。
- 2 [情報・設定] にタッチして [外部機器] にタッチする
- 3 「Bluetooth」の [デバイス接続] にタッチする



#### 4 機能を変更したい Bluetooth 機器にタッチする



#### 5 チェックボックスにタッチして使用する機能にチェックを付ける



[ハンズフリー 1]/[ハンズフリー 2] :  
ハンズフリー電話を使用します。

[オーディオ / アプリケーション連携] :  
オーディオ再生、本機対応のスマートフォン連携アプリケーションを使用します。  
接続方法を選択すると機器にアイコンが表示されます。

### 登録した機器を削除する

本機に登録した Bluetooth 機器を削除します。

- 1 フロントパネルの [HOME] を押す  
HOME 画面が表示されます。
- 2 [情報・設定] にタッチして [外部機器] にタッチする
- 3 「Bluetooth」の [デバイス接続] にタッチする



- 4 [削除] にタッチする
- 5 削除する Bluetooth 機器を選んでタッチして [削除] にタッチする
- 6 [はい] にタッチする

### Bluetooth の設定をする

- 1 [HOME] を押して [情報・設定] にタッチして [外部機器] にタッチする
- 2 「Bluetooth」 にタッチする



設定できる項目は以下のとおりです。

\* : お買い上げ時の設定です。

項目	設定	説明
Bluetooth	ON*/ OFF	Bluetooth 接続するかしないかを設定します。
デバイス接続	—	本機と Bluetooth 機器の接続設定をします。
PIN コード	0000*	現在の本機の PIN コードが表示されます。また、本機の PIN コードを変更します。
デバイス名	—	現在の本機のデバイス名が表示されます。また、本機のデバイス名を変更します。
デバイスアドレス	—	本機のデバイスアドレスが表示されます。
オートペアリング	ON*/ OFF	オートペアリング機能を設定します。
着信の自動応答	OFF*/1 秒 / 5 秒 /10 秒 / 15 秒 /30 秒	着信時に、自動的に通話可能になります。
着信音量	0 ~ 15* ~ 40	着信音量を調整します。
受話音量	0 ~ 15* ~ 40	受話音量を調整します。
通話中の音量調整	ON*/ OFF	ハンズフリー通話中は、それぞれの音量を音量キーで調整することができます。OFF に設定するとハンズフリー通話中の調整ができなくなります。
音質調整	—	通話音質を調整します。

# ハンズフリーを使う

本機に登録（ペアリング）した Bluetooth 対応携帯電話またはスマートフォンでハンズフリー通話を行うことができます。

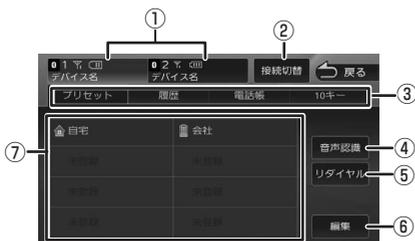
## 電話画面を表示する

- 1 【HOME】を押して【電話メニュー】にタッチする



電話メニュー画面が表示されます。

## 電話画面の見かたと操作



- ① **ハンズフリー 1/ハンズフリー 2**  
2台登録している場合は、2台とも待ち受け状態になります。電話をかける場合は1または2にタッチして接続機器を選択してください。
  - プリセット、履歴、電話帳などは選択されている機器の内容を表示しています。
  - 接続した Bluetooth 機器の電波受信状態、機器のバッテリー残量、デバイス名が表示されます。
- ② **【接続切替】**  
Bluetooth デバイス接続画面を表示します。
- ③ **【プリセット】**  
プリセットダイヤルに登録された番号に発信します。

### 【履歴】

PBAP 対応機器の場合は発信、着信、不在着信履歴を表示します。

### 【電話帳】

電話帳を表示します。

### 【10キー】

電話番号を入力します。

### ④ 【音声認識】

スマートフォンの音声認識機能を使って電話をかけます。

### ⑤ 【リダイヤル】

前回発信した電話番号に発信します。

### ⑥ 【編集】

プリセットダイヤルに電話番号を登録します。

### ⑦ プリセットダイヤル

プリセットダイヤルに登録された番号に発信します。



- Bluetooth 機器のバッテリー残量と電波の受信状態は、実際の Bluetooth 機器の表示と一致しない場合があります。
- プリセット、履歴、電話帳などは現在接続している機器が対象です。

## PBAP 対応機器の電話帳を登録する

最大 1000 件分（1 件あたり最大 5 番号まで）の PBAP 対応機器の電話番号を本機に登録することができます。



- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。

## 1 【電話帳】にタッチする



## 2 【登録】にタッチする



PBAP 対応機器の場合は電話帳の登録が始まります。機器によってはアクセスを許可する操作が必要な場合があります。アクセス許可の操作を行うと電話帳の登録が始まります。

## 電話帳を削除する

### 1 [電話帳] にタッチする

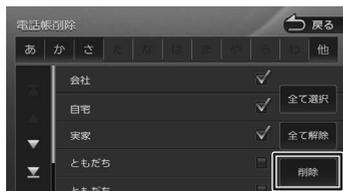


### 2 [削除] にタッチする



### 3 削除する登録名にタッチして [削除] にタッチする

複数選択することもできます。



**[全て選択] :**

リスト内のすべてを選択します。

**[全て解除] :**

リスト内のすべての選択を解除します。

### 4 [はい] にタッチする

選択した登録が削除されます。

## ハンズフリーで電話を受ける / 切る

電話を着信すると、着信画面が表示されます。

### 1 にタッチする



 (通話終了) :

着信を拒否します。



**[通話切替]** (割り込みの通話が発生中に表示) :

通話先を切り替えます。

**[音質調整] :**

音質を調整します。

**[トーン] :**

トーンダイヤルをするための 10 キーが表示されます。

 :

プライベート通話 (携帯電話) とハンズフリー通話を切り替えます。

**[閉じる] :**

表示を消します。



[電話] にタッチすると再度表示します。



- ハンズフリー電話の着信音量と受話音量は、AVの音量とそれぞれ独立して調整できます。
- ハンズフリー電話の受話音声は、フロントスピーカーからのみ出力されます。
- ハンズフリー 1 と 2 に登録している機器がある場合、1 台が発信または着信状態になったときは、もう 1 台の機器との接続が切断されます。通話が終わると切断した機器を再度接続します。

### 2 通話が終わったら、 にタッチする

# リアビューカメラを使う

## リアビューカメラ設定

リアビューカメラを接続したときは、設定を行う必要があります。



- 本機に接続できるリアビューカメラは別売の CMOS-C320、CMOS-C230W、CMOS-C230 です。

- 1 [HOME]を押して[情報・設定]にタッチして[外部機器]にタッチする
- 2 「カメラ」の[リアカメラ接続]にタッチする



- 3 [汎用カメラ]または[専用カメラ(コントロール機能付)]にタッチする



### [汎用カメラ] :

CMOS-C230(別売品)、CMOS-C230W(別売品)または市販のカメラを接続しているときに選択します。

### [専用カメラ(コントロール機能付)] :

CMOS-C320(別売品)を接続しているときに選択します。



- [専用カメラ(コントロール機能付)]に設定した場合は、手順2の画面で[リアカメラ調整]にタッチしてカメラの設定を行ってください。
- [汎用カメラ]に設定した場合は、手順2で[リアカメラ調整]にタッチするとガイド線の調整ができるようになります。

## リアビューカメラを表示する

- モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度(徐行)でご使用ください。
- リアビューカメラシステムは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 画質を調整するときは、必ず安全なところに停車してから操作してください。

- 1 シフトレバーを「R」(リバース)にする



リアビューカメラの映像が表示されます。画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。



### [非表示] :

リアビューカメラ操作ボタンを消します。

### [映像調整] :

リアビューカメラ映像の画質を調整します。

### [ビュー] :

リアビューカメラの視点を切り替えます。(CMOS-C320 接続時のみ)

### [ガイド線] :

リアビューカメラ映像にガイド線を表示します。もう一度タッチすると、ガイド線が消えます。

### [上位置] / [下位置] :

警告文の位置表示を変更します。



- 警告文を下に表示すると、車両の後端が映らなくなり、危険な場合があります。そのような場合は、表示位置を上に変更してください。

# メディアおよびファイルについて

## ご使用上の注意事項

- USB 機器や SD カードは、車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因になります。
- 本機で再生するオーディオ / ビデオファイルは、必ずバックアップを作成しておいてください。予期せぬ事態で、ファイルが破壊される場合があります。
- 本機で再生できるオーディオ / ビデオファイルの詳細は <http://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/> で型名を選んで「取扱説明書<詳細版>」をご覧ください。

## 本機で再生できるディスクメディア

### ● ディスク再生対応一覧表

分類	規格	対応	説明
DVD	DVD ビデオ	○	—
	DVD オーディオ	×	—
	DVD-R	○	VR モード対応 (DVD-R/RW のみ) CPRM 対応
	DVD-RW	○	
	DVD+R	○	
	DVD+RW	○	
	DVD+R DL (2層)	○	
	DVD-R DL (2層)	○	
DVD-RAM	×	—	
CD	音楽 CD	○	8cm ディスク非対応
	CD-ROM	○	—
	CD-R	○	パケットライト非対応
	CD-RW	○	
	DTS-CD	×	—
	ビデオ CD、スーパービデオ CD	×	—
	フォト CD	×	—
	HDCCD	△	通常の音楽 CD の音質
CCCD	×	—	
その他	デュアルディスク	×	—
	スーパーオーディオ CD	△	CD 層のみ再生可能

○：再生できます △：一部のみ再生できます

×：再生できません

## 再生できるディスクフォーマット

ISO 9660/Joliet/UDF

## 使用できないディスク

以下のディスクは使用しないでください。



- 記録面（レーベル面の反対側）に着色や汚れがあるディスク。引き込まれない、取り出せないなどの誤動作の原因になります。記録面には触れないようにお取り扱いください。
- ファイナライズ処理を行っていない CD-R/RW および DVD-R/RW は再生できません（ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーのマニュアルをご覧ください）。

そのほかにも、記録状態によっては再生できない場合があります。

- 汚れ、傷、ゴミのついたディスク、反りのあるディスク。音飛びなどの誤動作や音質劣化の原因になることがあります。
- 表面に紙テープなどが貼られたディスク、ラベルのノリがはみ出したディスク。ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。

## ディスクのご使用上の注意

- ディスクが汚れたときは、従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。
- 新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールおよび外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。
- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は使用しないでください。故障の原因となります。
- 8cmCD、8cmCD アダプターは使用できません。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

## DVD のリージョン番号

本機で再生できる DVD リージョン番号（国ごとに割り当てられた番号）は「2」（または 2 を含むもの）と「ALL」です。

DVD ディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。

## 本機で再生できる SD カード

規格	SD/SDHC/SDXC*1
最大容量	2GB(SD)/32GB(SDHC)/2TB(SDXC)
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT*2

\*1：MMC(MultimediaCard)には対応していません。

\*2：この他のファイルシステム (NTFS 等) には対応していません。

- SD スピードクラスは Class 10 まで対応しています。

## SD カード使用上のご注意

- miniSD カード、microSD カードは SD カードアダプターを使用することで使用可能ですがすべてのカードの動作保証はしていません。
- ご使用の際には、必ず SD カードに付属している取扱説明書も合わせてご確認ください。
- 本機で使用出来ない場合は、ファイルシステムが FAT16、FAT32 または exFAT であることを確認してください。ファイルシステムが異なる場合は、再フォーマットしてから使用してください。
- 本機は SD-Audio には対応していません。
- 全ての SD カードに対して、動作を保証するものではありません。
- SD カードの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- SD カード内のデータは必ずバックアップをしてください。SD カードの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

## 本機で再生できる USB 機器

規格	USB1.1/2.0*1
デバイスクラス	マストレージクラス (MSC device) *2
最大消費電流	1A 以下 (USB 接続時)
ファイルシステム	FAT16/FAT32/NTFS/exFAT*3

\*1：USB3.0 には対応していません。

\*2：使用する USB デバイスが USB マストレージクラスに対応しているかは、USB デバイスの販売メーカーにお問い合わせください。

\*3：この他のファイルシステムには対応していません。

## USB 機器使用上のご注意

- 接続した USB デバイスは運転の支障とならないように設置してください。
- セキュリティ機能付きの USB デバイスは使用できません。
- USB 規格外のケーブルは動作保証できません。また、延長ケーブルの使用により正常に再生できない場合があります。
- USB デバイスの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- 全ての USB デバイスに対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
- USB デバイスのデータは必ずバックアップをしてください。USB デバイスの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

## 本機で再生できるオーディオ / ビデオフォーマット

コーデック	メディア	CD	DVD	USB	SD
オーディオファイル	MP3	○	○	○	○
	WMA	○	○	○	○
	AAC	○	○	○	○
	WAV	○	○	○	○
	FLAC	○	○	○	○
	Vorbis	○	○	○	○
ビデオファイル	MPEG-4 Video	×	×	○	○
	H.264/MPEG-4 AVC	×	×	○	○
	WMV	×	×	○	○

○：再生できます ×：再生できません。

# ソフトウェア使用許諾契約書

【本製品をご使用前に必ずお読みください】

この AV システム本体（以下、「本システム」）および同梱品（併せて、以下、「本製品」）には、株式会社 JVC ケンウッド（以下、「ライセンサー」）のソフトウェア、および/または複数のソフトウェアライセンサー（以下、「ソフトウェア供給者」）から当社に対して許諾されたソフトウェア（併せて、以下、「許諾ソフトウェア」）が含まれています。許諾ソフトウェアは、ソフトウェアに関連する書類、マニュアルその他の印刷物を含みます。書類および印刷物は、オンラインまたは電子媒体で供給するものを含みます。

お客様（以下、「使用者」）は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、本製品をご使用いただくものと致します。

使用者が本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的にまたは間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。その場合には一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」を必ずご覧ください。

## 【使用許諾契約書】

### 第 1 条（総則）

ライセンサーは、許諾ソフトウェアの国内における非独占的かつ第 3 条第 1 項に定める例外を除き譲渡不能な使用権を使用者に許諾します。

### 第 2 条（使用権）

1. 本契約によって生ずる使用権とは、許諾ソフトウェアを本製品で使用する権利をいいます。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部もしくは全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をすることができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的を含めたとに関わらず、いかなる目的でも頒布することができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書またはヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。また、指定 PC へのネットワーク接続を用いて、使用者以外の第三者にこれを使用させることは許されていません。

### 第 3 条（許諾条件）

1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア（その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む）の使用権については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。

### 第 4 条（許諾ソフトウェアの権利）

許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用、再許諾を許諾した原権利者（以下、原権利者）に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

### 第 5 条（ライセンサーの免責）

1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

### 第 6 条（第三者に対する責任）

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

### 第 7 条（秘密保持）

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

### 第 8 条（契約の解除）

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。

- (1) 本契約に定める条項に違反したとき
- (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

## 第9条（許諾ソフトウェアの廃棄）

前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

## 第10条（著作権保護）

1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその一切の知的財産権は、ライセンサー及び現権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権法及びその関連の法律に従うものとします。

## 第11条（輸出規制）

1. 許諾ソフトウェアを日本国外に輸出すること（インターネット等を利用した国外送信を含みます）はできないものといたします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアに適用される一切の国際法および国内法（アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます）に従うことに同意するものとします。

## 第12条（その他）

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。
4. 本契約書の各条項は、代わりに契約書が提供されない限り、許諾ソフトウェアのバージョンアップ後のソフトウェアにも適用されるものとします。

以上

## ソフトウェアに関する重要なお知らせ

### 本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに株式会社 JVC ケンウッドまたは第三者の著作権が存在します。

本製品は、株式会社 JVC ケンウッド及び第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメント（以下、「EULA」といいます）に基づくソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public License または Lesser General Public License（以下、「GPL/LGPL」といいます）のライセンスに基づき実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするように求めています。

当該「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス

<http://www2.jvckenwood.com/gpl/j.html>

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えしかねますので、予め御了承ください。

「GPL/LGPL」の適用を受けない「EULA」に基づくソフトウェアコンポーネント及び株式会社 JVC ケンウッド自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示かつ黙示であるかを問わず一切ありません。

適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「GPL/LGPL」をお読みください。

本製品に組み込まれた「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお各ライセンスは株式会社 JVC ケンウッド以外の第三者による規定のため、原文（英文）を本製品に掲載します。

掲載場所は「情報・設定」－[システム]－[特別]の[オープンソースライセンス]です。

# iPod について

## 本機でコントロールできる iPod について

Made for

- iPod touch (6th generation)
- iPhone SE
- iPhone 7
- iPhone 7 Plus
- iPhone 6s
- iPhone 6s Plus
- iPhone 6
- iPhone 6 Plus
- iPhone 5s
- iPhone 5c
- iPhone 5
- 音楽再生のみに対応します。
- 本書では上記 iPod および iPhone をまとめて「iPod」と呼びます。
- 本機に表示できる文字の種類は、半角英数字、半角カタカナ、および全角文字です。ただし、正しく表示できない文字もあります。

# Bluetooth について

## Bluetooth 対応プロファイル

は、以下のプロファイルに対応しています。

- HFP (ハンズフリープロファイル)  
ハンズフリー通話するためのプロファイルです。
- PBAP (フォンブックアクセスプロファイル)  
電話帳のデータを vCard 形式で伝送するプロファイルです。
- A2DP\* (高度オーディオ配信プロファイル)  
オーディオプレーヤーの音楽を伝送するためのプロファイルです。  
\* SCMS-T 対応  
(SCMS-T とは A2DP に対応したオーディオプレーヤーなどでセキュリティがかかったコンテンツを聴くことができる機能です。)
- AVRCP (オーディオ / ビデオリモート制御プロファイル)  
オーディオプレーヤーの再生や選曲などをコントロールするためのプロファイルです。
- SPP (シリアルポートプロファイル)  
Bluetooth 機器を仮想シリアルポート化するプロファイルです。

Bluetooth 標準規格 Ver.4.1 準拠



- 動作を確認した携帯電話機については以下の URL をご覧ください。  
<http://www2.jvckenwood.com/cs/ce/bt/index.php?lang=japanese>
- Bluetooth 機能搭載機器は、Bluetooth SIG が定めている方法で Bluetooth 標準規格に適合していることの認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては通信できない場合があります。

## 対応コーデック

SBC/AAC

# 故障かなと思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

## ● 共通

症状	考えられる原因	対処方法
電源がオンにならない。	ヒューズが切れている。	コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
	電源コードなどの接続が間違っている。	お買い上げの販売店で接続を確認してください。
モニター画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
画面が暗い。	モニターの温度が低い。	液晶パネルの特性上、モニターの温度が下がっているときは、電源をオンにしたときに、通常より暗い場合があります。電源をオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。
	画質設定の明るさが低い。	画質設定の明るさを調整してください。
画面が見にくい。	見る角度によってコントラスト、明るさが変わります。	コントラスト、明るさ、視野角を調整してください。
映像の色調がおかしい。	—	画質を調整してください。
リアビューカメラに切り替わらない。	リアビューカメラが正しく接続されていない。	取付説明書を参照して、正しく接続してください。
	リアカメラ接続設定が“なし”になっている。	接続しているカメラを確認してリアカメラ接続設定を行ってください。(→ P.34)
音が出ない / 音が小さい。	バランス、フェーダーが片方に寄っている。	バランスやフェーダーを正しく調整してください。(→ P.14)
音質が悪い (音がひずむ)。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
	スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいます。	スピーカーの配線を確認してください。
	スピーカーの配線が間違っている。	スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。
案内音声が出されない ハンズフリーの音声が出されない。	フロントスピーカーに接続していない。	案内音声とハンズフリーの音声出力はフロントスピーカーのみです。スピーカーの接続を確認してください。
Bluetooth 機器が接続できない。	ソフトアップデート等により接続機器の登録情報が更新された。	Bluetooth 機器の登録を一旦削除して、再度登録し直してください。

## メッセージ

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

### ● 共通

メッセージ	対処
システムの起動ができませんでした。 カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
暗証番号が違います。 もう一度入力してください。	正しい暗証番号を入力してください。暗証番号を思い出せない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
スピーカー配線に異常があります。 接続を確認してください。	取付説明書を参照して、スピーカー接続を確認してください。
スピーカー配線に異常があります。 接続を確認してください。問題が解消されない場合はカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	スピーカーコードがショートまたは車両のシャーシに接触したため保護回路が働いた可能性があります。取付説明書を参照して、スピーカー接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
地デジアンテナに異常があります。 接続を確認してください。	アンテナケーブルの配線がショートしています。配線を確認してください。
ステアリングリモコンキーの学習ができませんでした。	取付説明書を参照して、ステアリングリモコンの接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
SD カードのフォーマットができませんでした。	SD カードが正しく入っているかを確認してください。他の SD カードを使用しても問題が解決されない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
DISC メカ通信エラー	JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

### ● カメラ

メッセージ	対処
専用カメラと通信できません。 接続を確認してください。	取付説明書を参照して、専用カメラとの接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
走行中は調整できません。	リアビューカメラのガイド線調整、および専用カメラのカメラ設定は、安全なところに停車した状態で行ってください。

### ● AV (共通)

メッセージ	対処
再生可能なファイルがありません。	再生対応しているオーディオ / ビデオファイルかどうかを確認してください。
走行中は音声のみお楽しみください。	走行中は映像を見ることができません。
音声は再生できません。	音声は再生できないビデオファイルです。
ファイルが再生できません。	再生できないファイルです。再生可能な次のファイルへスキップします。

### ● AV(Disc)

メッセージ	対処
ディスクが読めません。	読み込み不可のディスクを再生しようとしています。再生可能なディスクを挿入してください。
再生できないリージョンコードのディスクです。	ディスクのリージョンコードを確認してください。リージョンコード「2」(または 2 を含むもの) と「ALL」のディスクが再生できません。

メッセージ	対処
ディスクがローディングできません。 / ディスクがイジェクトできません。	強制イジェクト(フロントパネルの【▲】(オープンキー)をメッセージが表示するまで押しして【はい】にタッチする。)を実行してください。または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
録音可能なアルバム数の上限を超えています。	録音できるアルバムは最大 999 枚までです。 不要なアルバムを削除してから録音してください。
録音を続行できないため、録音を中断しました。	再度録音しなおしてください。
空き容量不足のため、これ以上録音できません。	不要なファイルを削除するか、空き容量の大きい SD カードを使用してください。

## ● Bluetooth

メッセージ	対処
空き容量不足のため、これ以上登録できません。	本機に登録できる電話帳は 1000 件 (1 件最大 5 番号まで) までです。不要な電話帳の登録を削除してください。

## ● SMART USEN

メッセージ	対処
スマートフォンアプリケーションからエラーが通知されました。 スマートフォンを確認してください。	本機との接続を解除し、スマートフォン単体で「SMART USEN」アプリケーションがご利用できることを確認してください。
スマートフォンアプリケーションと通信できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「SMART USEN」アプリケーションの起動を確認してください。</li> <li>● スマートフォンとの接続が正常かを確認してください。</li> <li>● Bluetooth 接続でご利用の場合は、デバイス切替ボタンから、ご利用の機器に [オーディオ / アプリケーション連携] を設定してください。</li> </ul>
連続再生が 3 時間を超えたため停止しました。	過度のバッテリー消耗、通信容量増加を防止するため、3 時間以上の連続再生を制限しています。(アプリケーションの仕様) 再生ボタンを押すか、チャンネル選択をすることで引き続き再生できます。

## ● KENWOOD Music Info.

メッセージ	対処
アルバム情報はありません。	アルバム情報が登録されていない楽曲については、楽曲タイトル情報を取得できません。
サーバーに接続できません。	スマートフォンがインターネット接続できるところに移動し、再度操作してください。
アプリケーションと通信できませんでした。 スマートフォンを確認してください。	「KENWOOD Music Info.」の起動を確認してください。 スマートフォンとの接続が正常か確認してください。

# 商標

「Microsoft」、「Windows」、「Windows NT」、「Windows Media」は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国や地域における登録商標または商標です。

Manufactured under license from Dolby Laboratories.  
Dolby Audio and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.

The "AAC" logo is a trademark of Dolby Laboratories.

**DVD** is a trademark of DVD format/Logo Licensing Corporation registered in the U. S. Japan and other countries.

"Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, or iPhone may affect wireless performance.

iPhone, iPod, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. Lightning are trademarks of Apple Inc. The trademark "iPhone" is used with a license from Aiphone K.K.

iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

This item incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi Corporation. Reverse engineering and disassembly are prohibited.

This software is based in part on the work of the independent JPEG Group.  
本機搭載のソフトウェアは、independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

SDXC ロゴは SD-3C LLC の商標です。

Bluetooth<sup>®</sup> とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC の登録商標で、株式会社 JVC ケンウッドはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

「Android<sup>™</sup>」および「Android ロゴ<sup>™</sup>」、「Google Play<sup>™</sup>」は Google LLC. の商標または登録商標です。

本製品には、株式会社コビキタスが開発した高速起動ソリューション「Ubiquitous QuickBoot<sup>™</sup>」を搭載しております。「Ubiquitous QuickBoot<sup>™</sup>」は、株式会社コビキタスの商標です。  
Copyright© 2018 Ubiquitous Corp. All rights reserved.



本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。



本ソフトウェアは、株式会社日立製作所の音声合成技術を使用しています。「Ruby Talk」は株式会社日立超 LSI システムズの登録商標です。

## Ruby Talk<sup>®</sup>



日本語変換は、オムロンソフトウェア（株）の compact Wnn を使用しています。  
compact Wnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd.  
2012-2017 All Rights Reserved.

Gracenote 及び Gracenote ロゴとロゴタイプは、米国およびその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。

libFLAC  
Copyright (C) 2000-2009 Josh Coalson  
Copyright (C) 2011-2013 Xiph.Org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF

SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO ( i ) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR ( ii ) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.MPEGLA.COM)

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR ( i ) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR ( ii ) DECODE MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.MPEGLA.COM)

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO ( i ) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE VC-1 STANDARD ("VC-1 VIDEO") AND/OR ( ii ) DECODE VC-1 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE VC-1 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.MPEGLA.COM)

libogg

Copyright (c) 2002, Xiph.org Foundation  
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

libvorbis

Copyright (c) 2002-2008 Xiph.org Foundation  
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

# 主な仕様

## ● モニター部

画面サイズ (幅×高さ×対角)	7.0V型ワイド (156.6×81.6×176.6 mm)
表示方式	透過TN型
駆動方式	TFTアクティブマトリクス
画素数	1,152,000個800H×RGB×480V
画素配列	RGBストライプ配列
タッチパネル	抵抗膜式タッチパネル
使用光源(照明方式)	LED/バックライト方式

## ● オーディオ部

最大出力	50W×4
スピーカーイン ピーダンス	4～8Ω
リアビューカメラ専 用映像入力	端子:RCA×1 映像入力レベル:1Vp-p/75Ω
ビデオ出力	端子:RCA×1 映像入力レベル:1Vp-p/75Ω

## ● 地上デジタルチューナー部

受信方式	地上デジタルテレビ放送方式 (日本) (ワンセグ対応)
受信チャンネル	UHF13～52ch

## ● チューナー部

FM受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0MHz～99.0MHz (0.1MHz)
AM受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522kHz～1629kHz (9kHz)

## ● USB I/F 部

対応 USB	USB1.1/2.0 (High Speed)
ファイルシステム	FAT16/FAT32/NTFS/exFAT
最大供給電流	DC5V ≒ 1A

## ● SD カード部

対応 SD	SD/SDHC/SDXC
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT

## ● DVD/CD 部

信号方式	NTSC
対応ディスク	DVD-Video, DVD±R/±RW/ ±R DL, CD-DA, CD-R/-RW, SACD (CD LAYER ONLY)
リージョン番号	2
サンプリング 周波数	44.1kHz/ 48kHz/96kHz
量子化ビット数	16/20/24bit (直線)

## ● 対応メディア

DVD-Video	DVD-R,DVD-RWはVRモードも対応	
CD-DA	8cmCD 非対応	
CD/DVD 音声	MP3, WMA, AAC, WAV, FLAC, Vorbis	
	音声	MP3, WMA, AAC, WAV, FLAC, Vorbis
USB/ SD	映像	MPEG-4 Video, H.264/MPEG-4 AVC, WMV

## ● 電源 / 寸法 / 重量

電源電圧	14.4V (10.5V～16V)
最大消費電流	15A
使用温度範囲	-10～+60℃
本体	外形寸法 (幅×高さ×奥行): 180mm×100mm×182mm
	埋込寸法 (幅×高さ×奥行): 178mm×100mm×159mm
	質量 (重さ): 2,320 g
GPS アンテナ	外形寸法: 36mm×12.8mm×33mm
	ケーブル長: 3.5m
	質量 (重さ): 85g

## ● TV アンテナ

アンテナ形状	フィルム型
ケーブル長 (アン テナケーブル)	4.0m
アンテナ部 (エレ メント外形寸法)	117.5mm×86mm
重量 (重さ) (ケー ブル含む)	約 40g (一本あたり)

## ● Bluetooth 部

対応プロファイル	HFP, PBAP, A2DP, AVRCP, SPP
対応コーデック	SBC/AAC
SCMS-T	対応

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

# 保証とアフターサービス

## 保証について

- 保証書 この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間 お買い上げの日より1年です。

## 修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたは JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

- ホームページ  
<http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>
- JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター  
0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)  
0570-010-114 (携帯電話、PHS からはナビダイヤル)  
045-450-8950 (一部 IP 電話など)  
受付時間などは裏表紙を参照してください。

## 修理を依頼されるときは

「故障かなと思ったら」(⇒ P.40) を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

**修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。**

● 保証期間中は…  
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または JVC ケンウッド・サービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…  
お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

● 持込修理 この製品は持込修理とさせていただきます。  
製品を修理のために、お買い上げの販売店または JVC ケンウッド・サービスセンターにお持ちになるときは、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。

● 車両からの取り外し / 取り付けについて  
修理をご依頼される場合は、製品を車両から取り外した状態でお買い上げの販売店または JVC ケンウッド・サービスセンターにお持ちください。  
なお、保証期間の内外に関わらず、修理、点検のために製品を車両から取り外しまたは取り付けした場合の作業費用の負担、および作業のご依頼は承っておりません。

● 修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要になります。)

技術料： 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

部品代： 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。





正しい取付け  
正しい操作で  
安全運転

---

## 株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)

0570-010-114 (携帯電話、PHSからはナビダイヤル)

045-450-8950 (一部IP電話など) / FAX 045-450-2308

住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

受付時間 月曜～金曜: 9:30～18:00

土曜: 9:30～12:00、13:00～17:30

(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。